

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
広島化成株式会社 本庄工場
- (2) 事業所の所在地
広島県福山市南本庄1丁目5番21号
- (3) 業種
1821 プラスチックフィルム製造業
- (4) 事業所位置図
別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準とする平成29年度から平成32年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

広島化成株式会社は、地球環境保全が人々の課題であると認識し、環境保全に積極的に取り組み継続的な推進を図ります。

<方針>

プラスチックフィルム製品において、継続的改善を基軸とした設計・開発、製造、販売により高い品質を顧客に提供することで社会貢献致します。また、トップマネジメントのリーダーシップの下、品質重点項目を達成するための活動を積極的に推進します。

1. 顧客ニーズと期待、及び法規制などの要求事項を把握した上で、商品（サービスを含む）をつくり込む際の要求事項を明確にし、これらを満足するより高い品質の商品を継続的に提供します。
2. 品質方針を達成するために品質目的・目標を設定し、全員が協働してその実現を目指します。
3. 品質方針が私たちにとって適切であり続ける様に見直しを行います。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 24年度	直近年度 平成 28年度
二酸化炭素	燃料の使用	3,809	2,756	2,417
	電気事業者から供給された電気の使用	6,152	4,745	5,286
合 計		9,961	7,501	7,703

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：付加価値額

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数(百万円)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位数 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	7,501	1,097	6.838	8.0	7,857	1,249	6.29
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	2,831	1,097	2,581	8.0	2,965	1,249	2.374
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a)/(b) 原単位見込(g) = (e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量の1%削減	・暖房温度の適正管理 ・蒸気配管の保温カバーの強化
2	電気使用量の削減	電気使用量の1%削減	・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時間の消灯の徹底 ・事務所エアコンの更新 ・モーター駆動制御のインバータ化 ・LED照明への更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合计量
1		
2		
3		

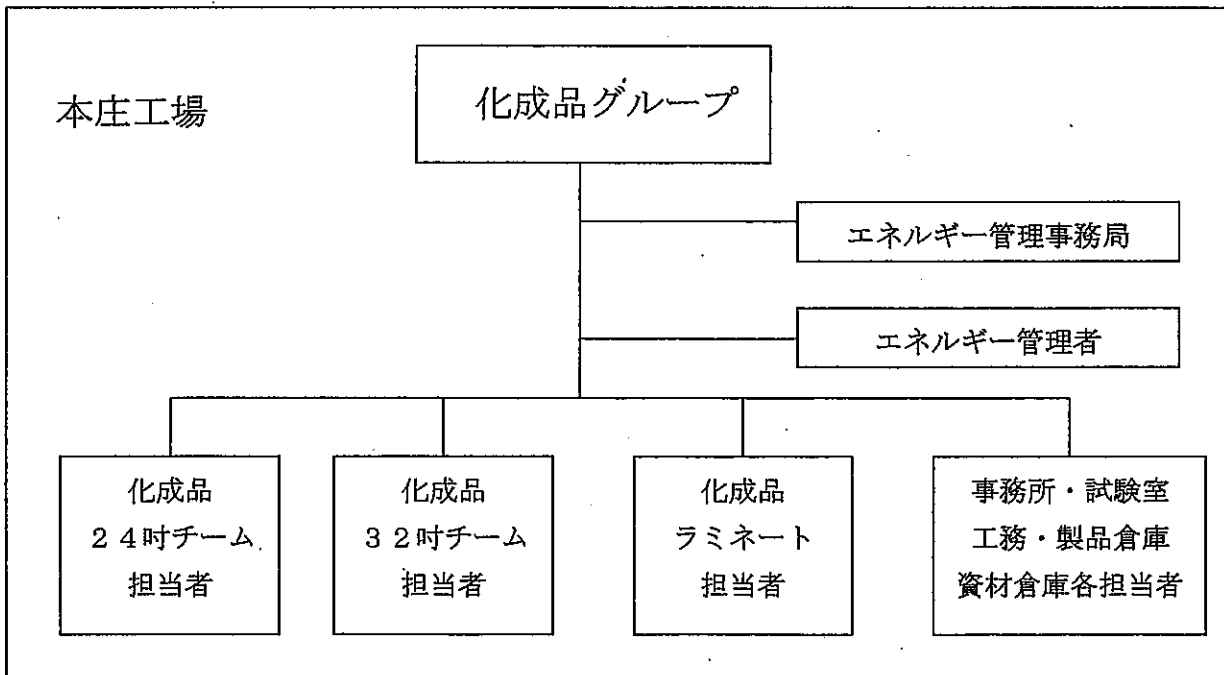
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量の削減	・両面コピー、裏面利用 ・分別収集及び資源化の徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

施設部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において定期的に評価、見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画の公表

公表方法は、施設部事務所への備え付けによる閲覧とする。